

指定管理施設事業評価票(令和4年度分)

1. 施設所管課 観光経済部 部 足尾観光課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市足尾環境学習センター		
	所在地	日光市足尾町銅親水公園内		
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会		
	代表者名	会長 齊藤 正三		
	住所	321-1523 日光市足尾町松原2番10号		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5 年間
選定方法	非公募	評価実施年	5 年間のうち	3 年目
施設設置目的	日光市足尾公園条例に定める施設で、観光客の利用の促進を図り、本市の観光の振興及び公共の福祉の増進と生活文化の向上を目的としている。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用受付案内業務 ・誘客のための企画実施 足尾に生きる第2弾(自然と野生動物が織りなす神秘)・中倉山関連記念グッズ販売 ・周辺観光案内の業務 			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		目標	実績	目標	実績
		目標	実績	目標	実績	目標	実績				
a	入館者数	人	12,500	2,694	11,600	4,618	10,000	6,092			
b											
c											
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計 A	5,001,984	4,402,437	5,138,266	0	0
指定管理料	4,019,260	3,730,000	4,197,963		
利用料収入 C	371,570	516,510	735,270		
自主事業収入	130,414	155,927	158,383		
その他	480,740	0	46,650		
支出計 B	4,462,645	4,877,049	5,118,250	0	0
指定事業費	4,398,938	4,794,351	5,047,746		
内人件費 D	2,835,420	2,770,563	2,880,640		
内外部委託費 E	439,340	439,340	439,340		
自主事業費	63,707	82,698	70,504		
事業収支 A-B	539,339	-474,612	20,016	0	0
人件費率 D/B	63.54%	56.81%	56.28%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	9.84%	9.01%	8.58%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

令和4年11月に指定管理者の監査が実施され、施設の設置目的に沿って実施していることを伝えた。
 施設が老朽化しているが、特に第1展示室のエアコンの改修が急務である。電気料が高騰している中では非常に厳しい状況である。
 展示物の見直しについては、それぞれの公共機関に要望をしていく中で、職員が補えることは冬季期間中を利用して時代に沿った目新しい展示を進めていきたい。
 また、中倉山の登山客が毎年増加する中で、登山ルートやパンフレットが求められている。
 今後とも日光市と協議をして、より良い施設となるよう改善していきたい。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。		A	A	
連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A	
	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	A	A	
総括	避難経路が適切に確保されている。	A	A	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接客が適切である。	A	A
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
協定書に従い、適切に修繕を行っている。		A	A	
広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	A	A	
苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A	
利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A	
総括	利用実績は、目標水準である。	B	B	
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	<p>アンケート調査に基づき館内の案内マニュアルを作成し、利用者には一定の評価を得ている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が終息する中、利用者が少しずつ戻ってきているが、電気料の高騰などで予算上は非常に苦しい状況である。</p> <p>その中でも自主事業を拡大して利用料収入を上げるための努力をしている。</p>			
所見 (成果・課題等)	(所管課評価)			
	<p>施設の経年劣化や展示品のマンネリ化している中で、松木溪谷における体験植樹や新たな記念グッズの作成等による自主事業実施により、自主事業収入の増収が図られている。また、入館者目標数には達してはいないが、入館者に対して職員が丁寧な説明をするなど、利用者の満足度を上げるための工夫をしているためか、年々、入館者が増えてきており、利用料収入の増収も顕著に見て取れる。今後の課題としては、マンネリ化した展示物の更新が必要と思われるため、指定管理者と連携を図りながら、利用者の満足感を得られるより良いものを創り上げて行く必要があると考える。</p>			
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		